

Weekly Report

事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19

名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：亀井 直人

幹事：鳥山 政明

クラブ広報委員：杉山 裕一

例会日：毎週木曜日 PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2025-26年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長のテーマ

「瑞穂ロータリーを理解し、そして楽しむ!」

2025-26年度
国際ロータリーのテーマ

「よいことのために手をとりあおう」

第2160回例会

～平和構築と紛争予防月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2026年2月12日(木) 晴 第24回

司会：生川昌樹 会場委員
斉唱：「我らの生業」
ゲスト：(株)グリッターエイジェンシー 代表取締役兼CEO 岡村徹也様

会長挨拶

田中宏 副会長

皆さん、こんにちは。本日は亀井会長の代理で挨拶をさせていただきます、副会長の田中宏です。今日は共通語(共通言語)についてお話しします。日本での共通語は日本語で、私は方言である名古屋弁を多用していますが、北海道でも九州での概ね通じていると思っています。



母語が異なる人々が、意思疎通のために共通して使う言葉で世界共通語といえ、英語であり英語を母国語とする人は、世界で3億5000万人を超え、英語を第2言語とする人は、4億3000万人以上にも昇り、世界中のほとんどの国で英語が使われているようです。

音楽も言葉の壁を越え、文化や国籍が異なる人の間でも感情を共有できる手段として「世界の共通語」と言われています。カラオケに行くと「世界の共通語」の英語で歌われる方も多いと思います。

音楽を演奏する場合の世界共通語は「音楽理論と五線譜」ですが昨年12月、台北訪問時に3月の創立記念例会で演奏する曲の練習をするため、日本出発直前に私が受け取った楽譜には「0から7までの数字」が並んでおりました。

私の感覚では音楽での共通言語は五線譜と認識していたのですが、台湾(というか台北延平RCの方々)は「数字譜」という形式の楽譜を使用して練習をされていたのです。日本では明治から昭和前期までは、五線譜よりむしろ数字譜のほうが普及していたようで、現在でも一部の楽器、例えば大正琴や複音ハーモニカの楽譜は数字譜のものが多く、

ちなみに1がド、2がレとなり、0は休符です。

童謡チューリップでは

ドレミ 休、ドレミ 休 ソミレド レミレ 休
1 2 3 0、1 2 3 0、5 3 2 1 2 3 0

PPデリックさんのおかげで、練習直前に数字譜から書き直した五線譜の楽譜を頂いたのですが、五線譜が完全に読めない私は必死になって音階である「ドレミ」をカタカナで練習中に書き込みながら、何とか練習を終えることができました。

現在は「ドレミ」のカタカナで練習中です。私には音楽の共通言語である「五線譜」と公式な場で使用する日本語の共通言語である「標準語」の勉強がまだまだ不足しているようです。

ニコボックス

広瀬弘幸 ニコボックス委員

- ・本日57歳の誕生日を迎えました。色々な方からお祝いメッセージを頂いてますが、年齢が年齢だけにちょっと複雑… 本多 誠之さん
妻の誕生日に綺麗なお花をありがとうございました。
杉江 建亮さん
- ・今年の冬が雪が多く、ぎふ美濃ゴルフクラブ17日間クローズしました。 内田 久利さん
- ・寒さが続いています。皆様ご自愛ください。 本日、岡村さん卓話よろしくお願いたします。 長谷川 隆さん
- ・グランパスの開幕初戦、見事勝利!! 山口さんお世話になりました。 萩原 孝則さん
- ・岡村さん、今日の卓話楽しみにしてます。 山口 哲司さん
- ・日本シニアゴルフアーズ協会に入会しました。皆様も是非。 岡部 光邦さん
- ・村上さん、撮影スタッフ達の旅券の手配ありがとうございました。おかげで全てうまくいきました。 今川 知也さん
- ・無事に入会一年を、迎えることができました。妻の誕生日にお花もありがとうございました。 生川 昌樹さん

幹事報告

鳥山政明 幹事

- ・2/12(木) 第8回理事会 13:40～ヒルトン4F「美杉の間」
- ・2/18(水) 西名古屋区分 I.M. 16:00～20:00(受付15:00～)
式典および講演 16:00～17:50(5階 ローズルーム)
懇親会 18:10～20:00(7階 ザ・グランコート)
ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋*受付は6階
※2/19(木)例会変更により休会
- ・2/26(木) 職場例会 場所:伊勢久 11:30～ 例会開始13:00 終了・解散
駐車場10台(75歳以上の方優先でご利用ください)
○蓬莱軒本店(40台)も利用可能
- ・2/27(金) 在籍3年未満会員の研修会
研修会:16:30～ 懇親会:18:00～
場所:あつた蓬莱軒 松坂屋店 会費:13,000円
対象者へはご案内済みですが、不明点ありましたら事務局までお願いします。

出席報告

広瀬弘幸 出席委員

会員69名 出席48名 (出席計算人数58名)

出席率 75.00%

2月誕生日おめでとう

本多 誠之さん 松田 浩孝さん 亀井 直人さん
水谷 幸康さん 福岡 逸人さん

皆様、こんにちは。岡村です。本日はこのような機会をいただき、誠にありがとうございます。

最初に、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は名古屋を拠点に、文化・地域・スポーツイベントの企画・プロデュースに長く携わってきました。オアシス21、徳川園、ナゴヤドームの開業事業、そして現在も続いている「名古屋ウィメンズマラソン」など、「人が集まり、記憶に残る場をつくる」仕事をしてきました。2022年11月には、プロデューサーを務める「ジブリパーク」の開園にも立ち会いました。



現在は、AIやロボット関連企業の顧問も務めています。IT分野では、GMOインターネットグループやサイバーエージェントなど、日本のトップIT企業の顧問役を務めております。

一見バラバラな経歴に見えるかもしれませんが、私の中では一貫しています。そのキーワードは「クリエイティブ × コミュニケーション」です。AIやロボット、ITが全盛の時代においても、最後に求められるのはこの二つの力だと考えています。その結果として、現在、日本のトップ企業数社の顧問を務めさせていただいています。

本日は、AI・ロボットが急速に社会に入り込んでくる今、人間の仕事と価値はどう変わるのか、というテーマでお話しします。AI企業やロボット企業が、「これからの未来」をどのように考えているのか。そしてその中で、人間はどうあるべきか。その点に焦点を当ててお話ししたいと思います。

まず、AIやロボットに「できること」です。一つ目は、パターン認識と高速処理。画像認識、翻訳、購買分析などの分野では、すでに人間はかきません。二つ目は、ルーティン作業の自動化。組立、搬送、清掃、受付などです。正確で、疲れず、文句も言いません。三つ目は、予測と最適化。ECのレコメンド、交通分散、エネルギーの効率化など、いわば経営や行政の「裏側」の部分は、これからはほぼAIが担っていく時代になります。

ここまでは、皆さんも日々実感されていることだと思います。

ここで一つ、重要な視点をお伝えします。AIは、大量の過去データから平均的な答えを導くことが得意です。つまり、「偏差の中央」に強い存在です。しかし、イノベーションや新しい価値は、いつも「外れ値」から生まれてきました。平均の中からではなく、「ちょっと変わったもの」「今までにないもの」から、新しい時代は始まります。

だからこれからの人間の役割は、「平均を出すこと」ではなく、「外れ値をつくること」になるのです。では、その外れ値を生み出す力とは何か。それが次にお話しする、AIにできないこと、そして人間の強みです。

AIやロボットに、決定的にできないことがあります。

一つ目は、ゼロからの発想力です。AIは過去データの延長線には立てますが、「そもそも、なぜそれをやるのか」という発想は生み出せません。

二つ目は、臨機応変な対話力と共感力です。日本的な「空気を読む」「間をつなぐ」力は、まだまだAIには難しい部分です。

三つ目は、価値を伝える力です。数字や機能ではなく、「意味」や「想い」を物語として伝える力です。

ここから見てくるのは、人間の強みは「創造」と「対話」の力だということです。創造力とは、まだ誰も見たことのない未来を思

い描き、形にする力。対話力とは、人と共鳴し、信頼関係をつくり、場の空気を動かしていく力です。この二つは、AIには代替できない人間の価値であり、これからますます重要になります。

では、AI・ロボット時代に人間は何を磨けばいいのか。私は、五つの思考法があると考えています。今日のお話の中で、ここが最も重要なポイントです。

一つ目、問いを立てる力。AIは答えを出しますが、「何を問うか」は人間の仕事です。

二つ目、意味を編む力。同じ事実でも、どう意味づけるかで価値は変わります。

三つ目、偶然を活かす力。雑談、出会い、違和感。本日のこうした場は、まさに「偶然の宝庫」です。

四つ目、感情で動かす力。人は論理よりも感情で動きます。共感や誇りを設計できるのは人間だけです。

五つ目、境界を超える力。業界、世代、立場を越えてつなぐ力。これも人間ならではの力です。

ここで一つ、具体例を挙げたいと思います。名古屋ウィメンズマラソンは、世界最大の女子マラソンとしてギネス認定されています。現在、AIは運営の最適化の部分で徐々に活躍の場を広げています。

しかし、「人生で忘れられない一日だった」と言われる理由は、AIがつくったものではありません。完走賞、ストーリー、街の応援、演出。人の「感情」を動かす設計があるからこそ、感動が生まれ、記憶に残るのです。これは、人が人のためにつくる仕事の好例だと思います。

最後に、皆さんに問いかけをして終えたいと思います。皆さんの仕事や地域において、AIに任せられることは何でしょうか。人間にしかできないことは何でしょうか。これからの時代は、「AIに負けない人」ではなく、「AIと役割を分けられる人」が価値を持つ時代になります。「思考法」そして「クリエイティブとコミュニケーション」。この二つを磨くことが、AI・ロボット時代を生き抜く力になると、私は信じています。

本日はご清聴、誠にありがとうございました。

例会のご案内

■今 週 2月18日 (水) 西名古屋分区I.M.
場 所：ANAクラウンプラザグランコート名古屋
時 間：受 付15:00～
式典・講演会・懇談会16:10～20:00

■今 週 2月19日 (木) は例会変更により休会

■次 週 2月26日 (木) 職場例会
場 所：伊勢久
時 間：11:30～13:00